

第41回土木学会トークサロン「防災とレジリエンス再考」(速報)

講師：河田恵昭先生

(関西大学社会安全学部教授・社会安全研究センター長、京都大学名誉教授)

概要： トークサロンの「伝える」シリーズとして防分野の研究史を学んだ。東日本大震災復興フォローアップ・セミナーとして、防災・減災、災害復旧、復興のあり方について討論した。

河田恵昭先生の海岸災害、阪神大震災、東日本大震災など多くの災害の現場でのご研究、ご経験のご講演をいただいた。土木学のあり方、「防災」の学術分野としての形成、「レジリエンス」の定義と社会での展開が中心的な話題であった。特に、復興事業、合意形成、連携、技術者の役割のお話を頂いた。特に、復興の資金調達のための社会制度と技術の齟齬、リーダーや住民の意思決定のあり方、東北の震災復興での津波防災とまちづくりの方法論の課題など、具体例をもとに明快なお話をいただいた。土木系産官学の方々以外に、非会員の文科系の大学教員、メディア、市民(東日本大震災の被災地から3名)、学生など社会の多様な方々にご参加いただいた。質問は、土木技術者への投げかけと期待であった。土木技術者として、基礎研究に始まり、阪神大震災を機に社会のあり方までふくめ真摯に取り組まれてきた研究姿勢に感銘をうけた参加者が多かった。

【日時】平成27年10月22日(木) 18:00-20:00

【場所】中央大学理工学部5号館5333号室 東京都文京区春日1-13-27

【参加者人数】約110名

【企画担当】清野聡子(企画委員会副幹事長)

【時間経過】18:00-19:05 ご講演、19:05-20:05 質疑応答

【配布資料】河田先生ご講演PPT資料を印刷、
土木学会「自然災害に強いしなやかな国土の創出のために」チラシ

【参加費】1000円(会場補助等の学生は無料)

【会場ご協力】中央大学理工学部 有川太郎教授、討議 山田正教授



(文責：清野聡子 平成27年10月30日)